

第 34 号

東北電子工業高等学校
東北工業大学電子工業高等学校
東北工業大学高等学校
同窓会事務局

仙台市太白区八木山松波町5-1
電 話 022(305)2111
F A X 022(305)2114
振替口座 02200-6-5819
発行責任者 今野克徳

さい すい
彩翠会報

会長挨拶



彩翠会長 今野克徳

会員の皆様におかれましては、日頃より会の事業運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により、犠牲となられた方々に対しまして、衷心よりお悔やみ申し上げますとともに被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

母校も大きなダメージを受けましたが、幸いにして在校生の皆様は全員無事であると報告を受けております。我々同窓生と在校生と共に力を合わせこれらの復興に向けて頑張りました。このような折に誠に恐縮ではございますが、母校の復興のためのご理解とご協力賜り、義援金をお願い申し上げます。ご挨拶が遅れましたが、前会長の後任として、昨年の臨時総会（平成二十二年十月十八日）で彩翠会長として就任させて頂くことになりました。私は昭和五十七年度卒十九期生です。会長という責務の重さを痛感しながら、日々同窓生はもとより

母校・後輩のために微力ながらも頑張りますので、前会長同様に皆様のご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、母校にとって昨年創立五十年というおめでたい年を迎え、本年度は十月二十日に式典を開催することになりました。学校側より式典に関する寄付金の依頼を受けております。また、同窓会としても記念品の贈呈を考えております。なお、贈呈品につきましては次期総会の時に皆様へご報告いたしたいと考えております。

本年は卯年でもあることから、これからも母校が跳ねて邁進していけるように我々同窓会も物心両面で協力をしたいと考えております。また、一方ではリーマンショック以降景気低迷が続くなか、今回の国内最大の災害で高校卒業生の就職内定率が益々低くなると思われま。優秀な後輩達の芽を摘まないためにも会員の皆様からの力を必要としておりますので、学校に足を運

んで頂き就職先の斡旋や情報提供を今後とも会員の皆様にお願いたします。

最後に、現在の同窓会は同窓生からの会費収入が少なく、決算書を見て頂くとわかるように在校生である後輩達に頼っている状況であります。この現状を変えるためにも皆様からの口添えで一人でも多くの同窓生に会費を納めて頂けるようお願いいたします。同窓会としても今後新たな事業運営を検討して参りますので、よろしくお願いいたします。皆様からの貴重なご意見を聞かせて頂くためにも五月十四日（土）午後六時に総会を開催することを予定しておりますが、今回の災害に伴い八月二十七日（土）総会午後六時、懇親会午後七時にパレス平安にて開催することとなりましたので、お忙しい中、恐縮でございますが御出席していただければ幸いです。最後にこのような時期ですので皆様とともに力を合わせ頑張らしましょう。

事務局便り

母校の復興義援金のお願い

このたびの東日本大震災により母校にも大きな損害を受けていることから、皆様より大変厳しい情勢の中ではございますがよろしく願います。一口二千円で何口でも結構です。同封の郵便払込用紙にてお願いいたします。手数料はかかりません。

◎同窓会費納入のお願い

印刷費や会報送料が年々膨らんでおり、更に母校の在校生数も減少して、厳しい財政運営を余儀なくされています。毎年会報の最終ページに同窓生の会費の納入者御芳名を載せて頂いておりますが、ぜひ、一ページ全てに御芳名を記載できるよう、苦しい台所事情御賢察の上、年会費三千円の納入に格段の御理解を賜わりますようお願いいたします。

ホームページにて同窓会の紹介をしております。ぜひアクセスして下さい。
「ホームページ」<http://www.tohtech-h.ed.jp>

御注意!!

同窓会や学校事務室の名前を使用し、同窓生宅や実家に電話をかけ、勤務先の電話番号等を聞き出そうとする業者が存在しているようですが、同窓会でも学校でもそのようなことは一切行っておりませんので十分御注意下さい。

学 校 長 挨 拶



学 校 長 久 力 誠

春の光のように同窓生の輪を

満開の桜が日差しを一層柔らかにしている春の日。いつもと変わらない季節の営みに後押しされて、生徒、教職員は前に向かって歩んでおります。

三月十一日午後二時四十六分、東北・関東地区を襲ったマグニチュード9.0、観測史上世界第四位のエネルギーを持つ巨大地震は、最大二十六mを超す津波と福島第一原子力発電所の崩壊という空前の災害を伴い、太平洋沿岸部に壊滅的な打撃を与えました。彩翠会の皆様からは、ご自身が被災されておられるにも関わらず、早速励ましの電話や訪問等をいただき、心から感謝申し上げます。また、尊い命を奪われた同窓生並びにご家族の皆様方には、心からご冥福をお祈りいたしますとともに、今後の復興を願ってやみません。母校は本館を中心に大きな被

害を受けましたが、幸いにも生徒、教職員につきましては最悪の事態を免れました。その後校舎内外の復旧に努め、お陰様で四月七日に予定通り始業式、入学式を挙行することができました。現在、特進コースを東北工業大学八木山キャンパス内に移し、進学コースと電子科は、一号館、二号館を使用して運営しております。本館は一階にある、事務室、校長室、職員室、会議室等の管理機能のみを使用し、二階以上は修復工事が終了するまで立ち入り禁止としております。

さて、彩翠会は昨年十月十八日の臨時総会において、加藤義夫会長はじめ執行部全員が退任され、新会長に今野克徳氏を選任されました。今年度の総会では、副会長をはじめとする新役員方々の承認を得て、いよいよ新体制が本格的に始動いたします。これまで長年にわたり母校

のためにご尽力いただきました加藤前会長並びに役員の皆様方には、衷心より敬意を表しますと共に、感謝申し上げます。また、新執行部は大幅な若返りを図られるようですので、春の光のように同窓生の輪が広がることを祈念しております。

さて十月二十日には母校創立五十周年記念式典・祝賀会が開催されます。すでに法人は記念事業の一環として、野球グラウンドの暗渠工事を終え、現在はフットサルコート一面の面積を持つ屋根付き屋外運動場はじめ、正門とエントランスの整備、旧プールと体育館の解体と駐車場の設置など、大規模な造成工事を二月の完成を目指して着手しております。このように校舎内外が一新されるのは良いのですが、同窓生の皆様にとりましては思い出の場所が消えることでもあります。一縷の淋しさが付きまといまいます。そこで新しい正門横に、「桂の木」をシンボルツリーとして植樹することにしました。たとえ校舎が変わっても「桂の木」は残り、在校生を見守り、同窓生と共に成長し続けます。また、「東北工業大学と接続した新しい学びの創造」を旗印に、平成二十五年四月の開校をめざし、校名変更も視野に入れながら、新しい教育理念と学科

構成をもつ高校づくりを、法人、大学一体となって進めております。目標は「宮城県随一の私立高校」です。母校の改革が実りのあるものになるには、社会でご活躍されている同窓生の皆様のお力添え

が不可欠です。母校はこれまで以上に皆様方が誇れる高校に成長して参りますので、何卒ご協力とご支援をお願い申し上げます。(四月二十日記す)

総合案内と事務局便り

第四十八回定期総会・懇親会の御案内

事務局長 川畑 仁

総会日程が左記のように決まりましたのでお知らせいたします。

日 時 八月二十七日(土)

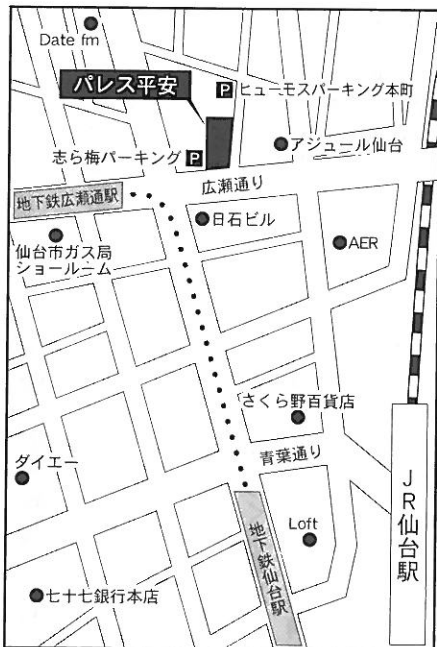
- 一、総 会 午後六時
- 二、懇親会 午後七時

場 所 パレス平安

(仙台市青葉区本町一―二)
(電話〇三―二六五―五二二)

会 費 社会人 三,〇〇〇円
学 生 一,〇〇〇円

総会には校長先生はじめ多数の恩師の先生方に御出席戴いております。多くの方に声を掛けて、多数の参加を呼びかけて戴くようお願いいたします。



学校の変遷

副校長

櫻井 藤雄



同窓会の皆さんには、常日頃から大変お世話になって

この度の東日本大震災により被災されました同窓生の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この度、同窓会より原稿依頼があり、ここにペンを執りました。私も勤務して四十年近くになりますが、正直言って同窓会の動きそのものがよく見えませんでした。透明性のある組織作りが叫ばれる中、これまでの執行部に代わり世代交代がなされました。旧執行部の皆様の活躍は本校の歴史そのものです。これまでの苦労に対し衷心より感謝を申し上げます。今野克徳会長をはじめ新執行部の若い世代が担い手となり、会員の相互の親睦や母校への熱き想いと更なるご支援を願

い、大きな船出になることを期待しております。

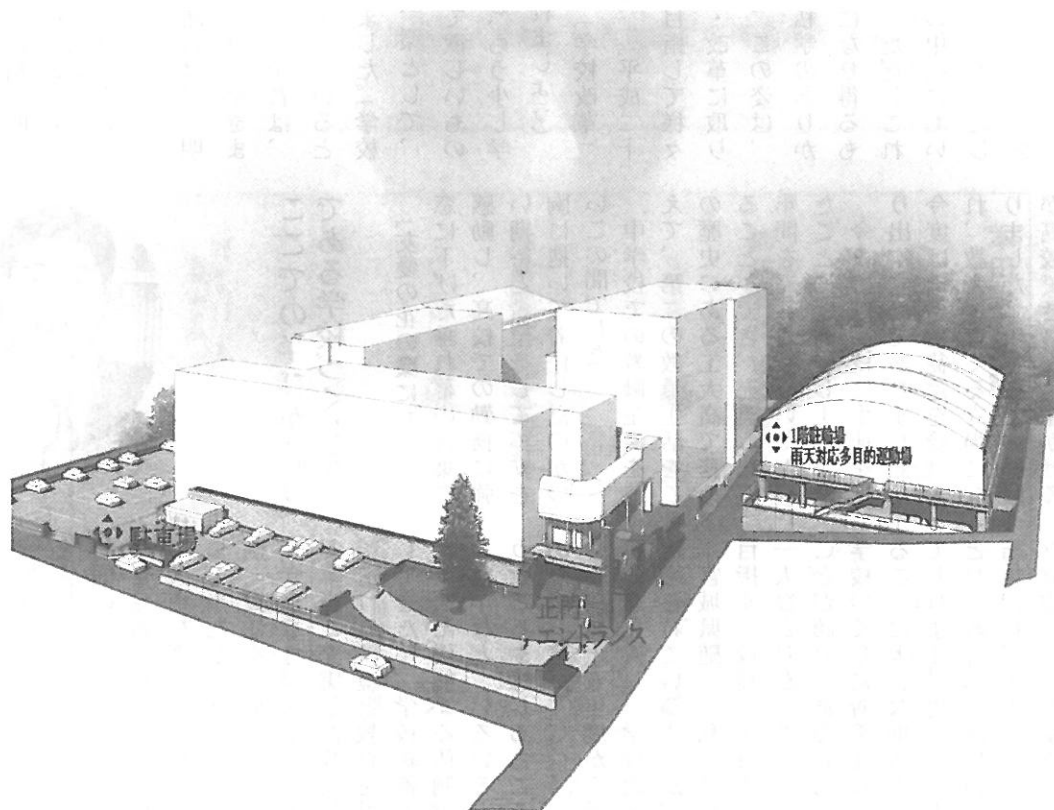
さて、本校も創立五十年となり、大きな節目を迎えております。これまでも本校の歴史を彷彿させる変遷がその時々刻々刻まれてきました。しかし、現在学校の活性化が叫ばれる中、先日、関東の私学への訪問を通して連携模索を図ってきました。スポーツから進学へと、正に生き残りを賭けた勝負に立つて成功した私学です。スポーツ進学は全国レベルで、いまだに千九百名からの在校生がおります。本校もバブル期までは、多くの生徒を抱えておりましたが、昨今の状況下での生徒確保は難しく、学校の目玉を発信しなければなりません。学校の名声を上げるのはスポーツ以外ありません。いろんな手だてを講じながら、生徒と向き合った教育をする中で選ばれた学校に作り上げていきますので、同窓生の皆さんも温かく見守ってください。最後に同窓生の今後の活躍を期待しております。尚、今までにない景観の学校建物組織図を掲載しましたのでご覧ください。時間がありません、ぜひ母校にお立ち寄りください。

東北工業大学高等学校施設整備計画について

高等学校創立50周年記念事業の一つとして、雨天対応多目的運動場と正門・エントランスを含めた工事計画を平成22年度に決定し、平成23年12月完成を目標に着工しました。

第2体育館（築38年）、プール（築41年）は老朽化が著しく、部活動を行っている生徒の安全が保てない状況にありました。また、耐久性も乏しいことから近隣住民に対しても不安を与える要因となっておりました。そこで、年次計画により第2体育館とプールを撤去し、新たな駐輪・駐車場の設置と生徒が活用出来る雨天対応多目的運動場を整備し、あわせて学校周辺を整備することで、学校のイメージアップと安全安心な教育環境を充実させることとなりました。

東日本大震災の影響により、工事が一時中断し工期が延長しましたが、平成23年度末の完成予定で工事が再開されました。（高校事務室）



お世話になりました

理科
船岡 信雄



本年三月定年で退職することになりました。

寮があった時、一週間に一度の寮監での泊まりで、生徒の部屋で色々と話したこと、そして、学年を縦割りにしたクラス連合で、三年生のリーダーシップのもと、一ヶ月準備した競技・仮装・応援を競い合った体育祭等が思い出に残っています。

思い出

先日、「先生ですか。Sです。天文部でお世話になった。まだ学校にいらっしやると聞いて、電話しました。大阪に住んでいるのですが、今故郷の仙台で河北でも紹介された写真展の展示をしているのでぜひ見に来て下さい」と電話があった。

翌日、展示会場で高校卒業後初めてあった。日焼けしてたくましい精悍な顔付きは高校時代とそっくりだった。そして、屋上で生徒と一緒に徹夜で流れる流星を観測したことを懐かしく思い出した。

あれから早四十二年経ち、

社会科

佐野 紘



工大高校五年間の思い出

部活では、八年前大阪で開催された将棋新人戦全国大会で八位に入賞したA君の付き添いで関西将棋会館（プロ棋士の対局場となっており、この時、決勝トーナメント戦のみここで行われた）に入り、観戦したこと

も良い思い出の一つです。勉学の面では、特進コース三年生の物理Ⅱを担当した時に、センター試験終了後、二次試験に向けて自主的に勉強する生徒に、授業の合間を見つけて、受験勉強の手助けをしたことも思い出に残っています。

今思えばあつという間の四十三年間でした。今までに邂逅した多くの先生方、そして生徒諸君に、改めて感謝申し上げます。

私が約五十年前に仙北の某高校に入学したとき、中学の同級生も本校に進学し、この三月に四十八回生を送り出した本校の「晴れの第一回生」となっています。（その頃の本校の様子は、中学校の同級会で何うことが出来ます）教員になつてからは、部活動の顧問として水泳部を担当しましたが、現在休止中の本校のプールは「県下高校の唯一の温水プール」であり、ジュニアオリンピック大会の県予選会等で何度か使用させて頂きました。この縁ある高校に（私はそう思っています）公立高校を終えてから勤務することが出来たことは非

常に嬉しく、楽しい五年間を過ごさせていただきました。二年目には、なんと十二年ぶりに「学級担任」となりました。（私の四十二年間の教員生活で、なぜか本校分を合わせても担任は八回のみでした）本校の生徒諸君は、「明るく元気」の一言に尽きません。特に運動部の諸君は、本当によく頑張っていると思つて見ていました。「学校の活性化」の一環として、今後とも続いて欲しいものです。（ただし、もう少し学習にも力を入れましょう）現在本校は「学校改革」の旗印のもと、「平成二十五年完成」を目指して様々な改正・改訂・改革に取り組んでいます。この姿は、「これからの私学のありかた」のモデルになり得るものと思います。ただしこれらの取り組みの中にいても、「これまで大切にしてきた工大高校の良さ」を決して見失わないよう願っています。三月末で本校を去りました。公私共にお世話になりました。皆様、ありがとうございました。

数学科

三浦 秀雄



ここでの学びが誇りである学校づくりを

「友愛の花の環におう」窓に下げた垂れ幕の言葉に感動し、高校での勤務に強い期待と希望そして不安を胸に抱いて着任したのがついでこの間でした。

中学校での教職生活を終えて、第二の教員生活をこの歴史のある工大高で務めることができ、充実した五年間を過ごさせていただいたことに感謝申し上げます。今までは高校に生徒を送り出す立場でありましたが、今度はその生徒達を受け入れ、教え・育てる立場になりました。中学校での経験が高校できちんと生かせるか不安でありましたが、皆様の手助けで無事に勤めあげることができました。

この五年間は主に入試広報室所属で中学生の生徒募

集活動を担当してきました。中学校の広報活動として、学校パンフレットや生徒募集要項等を持参し、本校のPRと出身校の生徒の情報交換等、年に三回位の訪問を実施してきました。その訪問の中で、各中学校から寄せられた私学工大高校への大きな期待と本校がこれまで果たしてきた教育の役割・責任を改めて感じ取ってきました。入学した生徒が本当に充実した高校生活を送れる環境と教育を保障してきたか。学校組織がスムーズに機能する体制であったかなど、いろいろと思うところや感じる場所がありました。平成二十五年度から学科編成を見直し、学校改革が進められているさなか、今「宮城県随一の私立高校を目指す」校長の方針の下に、一人ひとりがここで学んだことが誇りであると言える学校づくりに着手されていることに大きな期待をもちております。先生方一人ひとりが教育への熱い情熱を結集され、工大高校の新たな歴史と伝統を築き上げて欲しいと思います。今後のますますのご繁栄と同窓会の更なるご発展を祈念しております。

平成22年度卒業生進学・就職状況

〈主な進学先〉

進 学 大 学 名
<p>〈国公立大学〉</p> <p>岩手大学 山形大学 福島大学 琉球大学 宮城大学 前橋工科大学 福山市立大学</p> <p>〈県内大学・短大・他〉</p> <p>石巻専修大 尚綱学院大 仙台大 東北学院大 東北工業大 東北生活文化大 東北福祉大 東北文化学園大 東北薬科大 宮城学院女子大 聖和学園短期大学 仙台青葉学院短期大学 東北職業能力開発大学校</p> <p>〈その他の大学・短大・大学校〉</p> <p>北海道薬科大学 青森大学 八戸大学 富士大学 東北芸術工科大学 奥羽大学 城西国際大学 帝京平成大学 明海大学 工学院大 国士舘大学 駒澤大学 芝浦工業大学 専修大学 帝京大学 東海大学 東京工科大学 東京電機大学 東京都市大学 東洋大学 日本大学 法政大学 明星大学 神奈川大学 関東学院大学 横浜薬科大学 立命館大学 神戸夙川学院大学</p>

〈主な就職先〉

<p>県内事業所</p> <p>東北総警常駐株式会社 日総工産株式会社 株式会社アミノ 株式会社星和電設 ながくらデンタルクリニック 大東電業株式会社 福興電機株式会社 アイリスオーヤマ株式会社 株式会社宮城衛生環境公社 カメイ株式会社 東北電力株式会社 株式会社ケーヒン 株式会社トスネット 株式会社高橋電機工業所 株式会社いちごホールディングス コスモエレベータ株式会社 仙新設備工業株式会社 株式会社ひがしやまフードサービス</p>	<p>県外事業所</p> <p>キャノン電子株式会社 株式会社カナモト 三和エンジニアリング株式会社 山陽電気工事株式会社 中山ライニング工業株式会社 日生電機工業株式会社 三栄電気工業株式会社</p>	<p>公務員</p> <p>陸上自衛隊 (二等陸士) 千葉県警察 (警察官B)</p>
---	---	---

<p>株式会社 インタージェム</p> <p>代表取締役 店 長</p> <p>佐藤 正剛 (三期生) 佐藤 郁雄 (三期生)</p> <p>仙台市青葉区中央二丁目一五七F TEL 〇二二二二二二七三六八 FAX 〇二二二二二二八六九七</p>	<p>取締役相談役</p> <p>大場 律夫 (三期生)</p> <p>仙台市青葉区上愛子字松原四七一二 TEL 〇二二二二二二八〇八〇 FAX 〇二二二二二二八〇八八</p>	<p>代表取締役</p> <p>森 育夫 (三期生)</p> <p>仙台市宮城野区燕沢東一〇一 TEL 〇二二二二二二八八五五 FAX 〇二二二二二二八八四五</p>	<p>代表取締役</p> <p>高平 孝雄 (二期生)</p> <p>仙台市泉区七北田字新田二二一 TEL 〇二二二二二二七一一一 FAX 〇二二二二二二七三三三</p>	<p>代表取締役</p> <p>本田 十三男 (二期生)</p> <p>仙台市太白区西中田六一六一 TEL 〇二二二二二二四二一〇三七〇 FAX 〇二二二二二二四二一三三四一</p>
--	--	---	---	---

頑張っています

同窓生

〈氏名卒業順〉

戸部電材株式会社

代表取締役 戸部 正 (五期生)

岩沼市押分字南谷地八六一五
TEL 〇二二二二五〇七〇一
FAX 〇二二二二二七四〇一

有限会社 鈴木防災設備

代表取締役 鈴木 康志 (六期生)

仙台市泉区南光台三二二四一八
TEL 〇二二二三四一五六六一
FAX 〇二二二二九一〇〇六八

有限会社 クラフト

代表取締役 河野 照一 (八期生)

仙台市青葉区宮町一丁目一五一二
東急下エルアルス宮町二丁目一〇二
TEL 〇二二二七六六七四二二
FAX 〇二二二七六六七四二二

前宮城県議会議員

岸田 清美 (十期生)

仙台市太白区長町一三二六二〇三
TEL 〇二二二四八八八八八
FAX 〇二二二四八八八六三三

株式会社 北州

代表取締役 石塚 博文 (十四期生)

仙台市青葉区立町三一
TEL 〇二二二六六〇〇四〇
FAX 〇二二二六六一〇六〇

コバルト美容室

吉田 直 (十五期生)

仙台市青葉区旭ヶ丘三一四一
TEL 〇二二二七一一六六〇三

株式会社 廣濟堂

文教ソリユーション部 仙台営業所
所 長 石井 幹雄 (十五期生)

仙台市若林区舟丁十八一
TEL 〇二二二七五二二二二
FAX 〇二二二七五二二二二

学校法人 角川学園 専門学校 花壇自動車大学校

教 頭 猪股 宣明 (十五期生)

仙台市青葉区花壇八一
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

(有)アシスト物流

代表取締役 安田 茂 (十九期生)

岩沼市空港南二一三一
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

丸吉電機株式会社 東北支店

支店長 志子田 秀之 (二十一期生)

仙台市若林区御町三一五一七
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

ホテルレオパレス仙台

総支配人 青山 佳夫 (二十二期生)

仙台市宮城野区榴岡四一六一二八
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

京王観光株式会社 仙台支店

支店長 木田 勝政 (三十五期生)

仙台市青葉区本町一〇二二二〇
KDX 仙台ビル三F
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

R45・日の出自動車学校

副管理者 奥山 祐輔 (二十六期生)

仙台市宮城野区日の出町二一
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

(有)佐々木電気工事

代表取締役 佐々木 仁也 (二十八期生)

仙台市若林区荒井字在家七六一上L
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

株式会社 太陽事務機

代表取締役 若松 伸大 (二十九期生)

仙台市宮城野区高砂一十一二
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

株式会社 登米プラス

営業部長 武山 祐樹 (三十七期生)

名取市上余田字刈田五四三一
TEL 〇二二二二二二二二二
FAX 〇二二二二二二二二二

東北工業大学高等学校

同窓生 教職員会
同窓会事務局

浅野 初朗 (四期生) 国語科	川畑 仁 (二十八期生) 体育科
笠原 清 (十期生) 数学科	浦田 哲也 (二十九期生) 電子科
狩野 仁宏 (二十期生) 電子科	奥田 昌史 (三十二期生) 電子科
永野 英明 (二十六期生) 電子科	藤井 貴也 (三十三期生) 電子科
森 裕 (二十六期生) 体育科	佐藤 隆司 (三十六期生) 社会科
高橋 功充 (二十八期生) 社会科	千葉 康志 (三十六期生) 電子科
	鈴木 聡 (三十七期生) 電子科
	渡邊 歩 (四十期生) 社会科
	八島 光 (四十期生) 美術科

創立50周年記念協賛金納入者御芳名

(期順音順)

卒業	氏名	協賛金	卒業	氏名	協賛金	卒業	氏名	協賛金	卒業	氏名	協賛金		
1期生	相原 洋一	2,000	7期生	内海 隆	2,000	13期生	阿部 大介	2,000	36期生	高橋 洋平	2,000		
	浅野 倫正	10,000		太田 惠	2,000		荒川 栄光	2,000		井上 卓也	2,000		
	小野 悠	10,000		大場 敏郎	7,000		永瀬 孝博	2,000		大野 信之	10,000		
	菊地 常信	2,000		大村 英実	2,000		鈴木 裕一	2,000		37期生	石川 晃	2,000	
	桑折 孝雄	10,000		加藤 佑也	2,000		15期生	中村 正俊		2,000	鈴木 聡	2,000	
	長岡 由彦	2,000		釜石 俊昭	2,000		早坂 仁平	2,000		千葉 朋典	2,000		
	本田 十三男	10,000		木村 拓	2,000		16期生	千葉 信彦		2,000	七海 英雄	2,000	
	2期生	荒川 捷英		2,000	福島 洋		2,000	17期生		阿部 恒司	2,000	吉田 貴浩	2,000
	大友 清助	2,000		星 光太郎	2,000		18期生	長尾 優		10,000	38期生	井上 直樹	2,000
	佐々木 宜生	2,000		小野 和男	2,000		伊藤 俊	2,000		佐藤 祐介	6,000		
鈴木 伸一	10,000	樫村 真司	2,000	伊藤 孝之	2,000	39期生	佐伯 尚美	2,000					
高橋 忠	2,000	高野 英男	2,000	小林 宏	2,000	佐藤 利光	2,000						
高平 孝雄	10,000	半澤 和夫	10,000	佐野 浩	20,000	40期生	青木 純	2,000					
兵藤 秀二	2,000	8期生	太田 均	2,000	19期生	桜井 真澄	2,000	勝又 久	2,000				
福来 正三	2,000	齋藤 博也	2,000	佐藤 浩司	10,000	41期生	須藤 肇	2,000					
松山 宏佑	2,000	庄司 務	2,000	20期生	安住 慎一郎	7,000	42期生	佐藤 賢治	2,000				
山澤 総一郎	2,000	水戸 部和幸	2,000	安部 典昭	2,000	菅原 大富	10,000						
3期生	遠藤 浩	2,000	9期生	佐々木 達雄	2,000	島貫 敏浩	2,000	笛 弘恭	2,000				
川村 喜八郎	2,000	佐藤 茂	2,000	21期生	石森 徹	2,000	本木 信行	2,000					
佐藤 郁雄	6,000	鈴木 伸彦	10,000	22期生	腰澤 邦昭	4,000	山形 岳	2,000					
飛澤 章	2,000	土田 義明	2,000	23期生	東海林 修	2,000	43期生	橋浦 基之	2,000				
中村 宗弘	4,000	遊佐 雅伸	2,000	24期生	小山 秀行	2,000	44期生	阿部 朋弘	10,000				
三浦 修市	20,000	10期生	我妻 博文	2,000	朴澤 光紀	2,000	石岡 真太郎	2,000					
4期生	菊田 正典	2,000	栗野 眞	4,000	25期生	田中 浩志	2,000	小松 洋平	2,000				
菊地 喜代志	2,000	岸田 清美	6,000	26期生	稗貫 毅	2,000	45期生	蔵本 翼	2,000				
西條 正義	2,000	平塚 昌久	2,000	28期生	川畑 仁	2,000	佐藤 征哉	4,000					
桜井 博	2,000	11期生	早坂 尚	2,000	宮内 修	2,000	46期生	鈴木 元	2,000				
佐々木 新平	2,000	笛 俊明	2,000	29期生	石川 秀治	2,000	47期生	遠藤 悟	2,000				
佐々木 伸夫	2,000	12期生	内村 滋	2,000	30期生	海藤 英俊	2,000	小野 寺拳甫	2,000				
四野 見守男	2,000	岡田 晃	2,000	鈴木 慶太	2,000	菊地 拓哉	2,000						
5期生	人見 啓一	2,000	小野 広志	20,000	31期生	遠藤 浩昭	2,000	佐藤 翔	2,000				
熊谷 義則	2,000	菊地 巖	2,000	32期生	佐藤 正剛	6,000	鈴木 貴浩	2,000					
櫻井 伸比古	2,000	菊地 茂	2,000	小島 岳史	2,000	牧野 峻	2,000						
村田 忠	2,000	佐藤 昌志	2,000	佐藤 健	2,000	松木 諒	4,000						
6期生	井上 幸	10,000	多田 祥茂	2,000	須田 正裕	2,000	吉田 啓悟	2,000					
岩本 政郁	20,000	富樫 悦夫	2,000	33期生	井上 元宏	2,000	脇山 香波	2,000					
内海 克夫	2,000	渡邊 俊之	2,000	34期生	鈴木 伸彌	2,000							

同窓会費納入者御芳名

平成23年3月31日現在(敬称略)

◆電波生 針生和夫 ◆1期生 相原洋一 浅野倫正 石田勝 小野悠 加藤義夫 菊地常信 桑折孝雄 桑原紘和 佐々木勝夫 庄司武 長岡由彦 本田十三男 ◆2期生 相沢雅 荒川捷英 榎藤俊一 門沢郁夫 鈴木伸一 佐々木宜生 佐藤弘一 高橋忠 高平孝雄 兵藤秀二 福来正三 松山宏佑 山澤総一郎 吉田敏男 ◆3期生 板橋正志 遠藤浩 大場律夫 加藤代志雄 川村喜八郎 佐藤郁雄 中村宗弘 藤本敏明 三浦修市 森育夫 ◆4期生 小幡早苗 菊田正典 西條正義 桜井博 佐々木新平 佐々木伸夫 四野見守男 玉田俊明 人見啓一 ◆5期生 五十嵐保行 熊谷義則 櫻井伸比古 武田行雄 村田忠 ◆6期生 岩本政郁 内海克夫 内海隆 太田恵 大場敏郎 大村英実 加藤佑也 釜石俊昭 木村拓 鈴木康志 竹内俊一 福島洋 星光太郎 ◆7期生 小野和男 樫村真司 木村達男 高野英男 野村憲芳 半澤和夫 ◆8期生 太田均 齋藤博也 庄司務 堀田昇一 水戸部和幸 安川勇 ◆9期生 木川田明弘 佐々木達雄 佐藤茂 鈴木伸彦 土田義明 遊佐雅伸 ◆10期生 我妻博文 奥田浩一郎 笠原清 菊地徹 岸田清美 平塚昌久 ◆11期生 早坂尚 笛俊明 村岡信二 ◆12期生 内村滋 多田祥茂 大高和之 岡田晃 菊地巖 菊地茂 小野広志 佐藤昌志 富樫悦夫 渡邊俊之 ◆13期生 阿部大介 荒川栄光 ◆14期生 石塚博文 鈴木裕一 ◆15期生 石井幹雄 清水雄彦 庄司伸一 中村正俊 早坂仁平 ◆16期生 柿沼馨 川島孝宏 千葉信彦 畑谷和孝 ◆17期生 阿部恒司 佐藤宏 羽川喜富 ◆18期生 伊藤俊 伊藤孝之 小金沢広二 小林宏 佐野浩 ◆19期生 今野克徳 桜井真澄 佐藤浩司 ◆20期生 安住慎一郎 安部典昭 狩野仁宏 島貫敏浩 ◆21期生 石森徹 色川和義 松浦淳 ◆22期生 青木宣泰 腰澤邦昭 ◆23期生 東海林修 ◆24期生 小山秀行 朴澤光紀 ◆25期生 佐藤俊一 田中浩志 ◆26期生 矢田幸哉 ◆28期生 川畑仁 高橋功充 宮内修 ◆29期生 石川秀治 浦田哲也 ◆30期生 海藤英俊 菅野弘信 鈴木慶太 ◆31期生 遠藤浩昭 佐藤正剛 ◆32期生 小島岳史 佐藤健 須田正裕 ◆33期生 井上元宏 千葉雅之 藤井貴也 ◆34期生 鈴木伸彌 高橋洋平 ◆35期生 田村慎悟 ◆36期生 井上卓也 大野信之 佐藤隆司 佐藤幸弘 千葉康志 ◆37期生 石川晃 鈴木聡 武山祐樹 田代健一郎 千葉朋典 七海英雄 吉田貴浩 ◆38期生 井上直樹 佐藤祐介 前田河潤 ◆39期生 小野佑樹 佐伯尚美 佐藤孝平 ◆40期生 青木純 勝又久 百瀬維 ◆41期生 菊地圭 須藤肇 武田諭 ◆42期生 菅原大富 笛弘恭 本木信行 山形岳 ◆44期生 阿部朋弘 石岡真太郎 岩船淳 小松洋平 東海林隆 丹野清太 ◆45期生 遠藤大輔 川崎拓太 蔵本翼 佐藤征哉 鈴木友弥 千葉雄太 藤村貴之 村井寛 ◆46期生 庄司晃弘 鈴木元 ◆47期生 遠藤悟 小野寺拳甫 菊地拓哉 郡山強 佐藤翔 鈴木貴浩 藤村和寛 船山美希 牧野峻 松木諒 三浦大樹 脇山香波 渡邊純一 ◆48期生 片桐慧汰

平成21年度決算書

【収入の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △減	備 考
会 費 (一般会員)	690,000	630,000	△ 60,000	卒業生会員 (@3,000 * 210名分)
会 費 (準 会 員)	4,026,176	4,077,800	51,624	入会金及び会費 (1,000 * 350 + 900 * 1,044 + 300 * 9,294)
過 年 度 分 収 入	1,000	3,300	2,300	未収入回収 (300 * 9) + 600
総 会 懇 親 会 費		326,000	326,000	総会懇親会参加費 (一般 @3,000、学生 1,000、ご祝儀)
雑 収 入	300,000	395,473	95,473	広告代 ¥200,000、国債利金 ¥194,295、預金利子 ¥1,178
繰 越 金	5,073,977	5,073,977	0	前年度繰越金
合 計	10,091,153	10,506,550	415,397	

【支出の部】

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △減	備 考
総 務 費	250,000	231,333	△ 18,667	
会 議 費	150,000	143,423	△ 6,577	役員会補助 (4回)
事 務 費	100,000	87,910	△ 12,090	通信費、事務用品等
事 業 費	8,430,000	6,077,959	△ 2,352,041	
事 活 動 業 費	3,500,000	2,539,939	△ 960,061	
内 訳	会 報 等 印 刷	354,900		第32号 16,000部
	会 報 発 送 ・ 送 料	1,614,488		14,432名分発送処理および郵送料他
	デ ー タ 管 理 ・ 入 力	104,667		(廣濟堂)データ管理料・データ処理料・ラベルリスト出力
	総 会 懇 親 会 費 用	465,884		参加者からの会費徴収 ¥326,000 ⇒ 不足分を補助
支 部 費	500,000	0	△ 500,000	支部支援
奨 励 費	1,000,000	271,670	△ 728,330	
内 訳	卒 業 ・ 入 学 記 念 品	191,670		H22.3 卒業生へスポーツタオル、H22.4 入学生へ襟章
	イン ー タ ー ・ ハ イ 出 場 支 援	80,000		レスリング・空手道・フェンシング・体操
慶 弔 費	400,000	238,790	△ 161,210	祝・弔生花、香典、祝儀など15件
基 金 積 立 金	3,000,000	3,000,000	0	同窓会基金積み立て
雑 費	30,000	27,560	△ 2,440	産業振興会費、会費郵便払込手数料 (加入者負担)
予 備 費	1,411,153	5,100	△ 1,406,053	
予 備 費	1,411,153	5,100	△ 1,406,053	退学者への返金
合 計	10,091,153	6,314,392	△ 3,776,761	

【収支合計の部】

収 入	支 出	次年度への繰越
10,506,550	6,314,392	4,192,158

【基金現在高】

16,647,995	内 訳	16,000,000	日興コーディアル証券 (国債)
		647,995	岡三証券 (預り金)

監 査 報 告

平成22年度 5月26日 東北工業大学高等学校において

1.現金出納帳 2.預金通帳 3.現金 4.領収書
等を精査した結果、記載の通り相違ないことをご報告致します。

平成22年 5月26日

監事 柿沼馨 (印)

監事 石井幹雄 (印)

個人情報取り扱いのお願い

会長 今野克徳

個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合には、お手数ながら
下記のフリーダイヤルにご連絡をいただくか、学校へ郵便にてお申し出下さい。

お電話による場合	株式会社廣濟堂 データベース部 (業務委託会社) ☎0120-058-651 お客様相談センター (受付時間 / 平日10:00~17:00 日・祝・土除く)
お手紙による場合	東北工業大学高等学校 同窓会事務局 〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町5-1

編 集 後 記

いつも快よく原稿をお寄せ下さる諸先生、同窓生の皆様のご協力で第34号も完成いたしました。
厚くお礼申し上げます。ご意見、ご要望がありましたら編集委員までお聞かせ下さい。

編集委員 川畑、永野、千葉、笠原